



平成 26 年 12 月 24 日

各 位

会 社 名 株式会社 はかた匠工芸  
(コード番号 3610 TOKYO PRO Market)  
代表者名 代表取締役 岡井 弘志  
問合せ先 取締役管理部長 今里 恵子  
T E L 092-581-7232  
U R L <http://takumikougei.jp/>

棚卸資産評価損および固定資産減損損失の計上並びに  
業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、棚卸資産評価損の計上及び減損処理に伴う特別損失を計上する見込みとなった事、並びに上記の棚卸資産評価損の計上及び特別損失に最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 7 月 15 日に公表した平成 26 年 12 月期の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 棚卸資産評価損の計上

当社の保有する棚卸資産に関しまして、当初予想の販売機会の減少により、旧製造品が販売不振になるなど、売れ残り在庫商品の収益性が低下したことにより、棚卸資産評価損 12 百万円を売上原価に計上する見込みです。

2. 固定資産減損損失の計上

当社の保有する固定資産に関しまして、1. 記載の理由により、女性用和装品の直販事業の固定資産についても収益性の低下がみられるため、将来の回収可能性を検討した結果、減損損失 6 百万円を特別損失で計上する見込みです。

3. 平成 26 年 12 月期業績予想数値の修正（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）

（単位：百万円未満切捨て）

	売上高	営業利益 (損失△)	経常利益 (損失△)	当期利益 (損失△)	1 株当たり 当期純利益 (損失△)
前回発表予想 (A)	639	5	4	2	4.71 円
今回修正予想 (B)	519	△111	△119	△125	△243.29 円
増減額 (B－A)	△119	△116	△123	△128	—
増減率 (%)	△18.7%	—	—	—	—

4. 業績予想の修正の理由

当社は平成 26 年 12 月期より販売経路の拡大・強化をするための一つとして、男きものの製造及び販売（男きもの事業）を開始し、平成 26 年 4 月に男きもの専門店「SAMURAI」1 号店（銀座本店）・2 号店（京都店）を出店いたしました。この事業においては当初予想の売上高には達しませんでしたがお客様に大変ご好評いただいております。現在も好調に推移しております。また、既存の女性用和装品の直販事業の売上高に関しましても前年同期に比べ大幅に増加しましたが、当初予想には達しませんでした。

この結果、売上高全体では、前年同期に比べ増加したものの当初予想を下回る見通しとなりました。

損益面については、男きもの事業における設備投資が当初の見込みより負担増となったことや女性用和装品の直販事業における予想回数以上の上場記念販売会などによる利益率の低下に加え上記 1、2 の要因により、予想数値を下回る見通しとなりました。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上